

平成22年9月28日

## 平成22年度第4回ハッピードワン運営推進会議

記録 吉田、山村

### 出席者

七飯町消防署予防課長：青山様  
七飯町役場保健福祉課：浅利様  
七飯町役場地域包括支援センター：保原様  
ご家族様：佐々木様  
スタッフ：吉田、山村、横田

山村～第4回運営推進会議を始めたいとおもいます。

今日の避難訓練について総評を青山様のほうからよろしくをお願いします。

青山～今日は1階ボイラー室から火災が発生したという想定でやりました。火災報知機を使って通報を行いました。実際ではそのような時間もないと思いますが、みんなが周知し取り扱えることが大事です。平成24年までにスプリンクラーを期間内につけていただければいいわけですが、いくら設備が整っていても基本は避難訓練です。いかに安全に1秒でも早く表に出すか、ただ急ぐあまり怪我をさせないことも大切です。時間を短縮させるには、普段からの訓練が大事です。日中はスタッフもおりますが、夜間は1階2階で2名、自分では避難できる人もこうやって訓練をやっていると上手になってきます。メインになるのは車イスで、車イスはバルコニーに避難させると消防隊がきて救助します。避難訓練を一生懸命にやっていると上手になってきます。そして設備の使い方も慣れてくると思います。

今日は皆さん一生懸命汗をかいてやっていただきました。訓練を積み重ねていくと近隣の協力も得られるようになり時間差でかけつけてくれたりある程度期待できるのではないのでしょうか。しかし、協力は確実ではなく流動的なものだということも理解し、その辺を町内会の人達と話していくといいと思います。

山村～今日は町内会の方は所用で日にちががちあってしまい欠席となってしまいました。今年度もう1回避難訓練を行う予定でおりますので、その時には町内会の皆様とも話あいたいと思います。

青山～あるところでは、年輩者ばかりいてどういう協力ができるのだろうかという声が聞かれました。もしかしたら非難しても戻るといふ行動が見え、その行動を阻止したり、そばでつきそっているだけでいいと思うんです。

吉田～以前運営推進会議で、近隣の方2名から、見守りしているだけいいのならかけつけてお手伝いしますよと言ってくれました。確かに今年3月29日にスモークをたいでの避難訓練では普段真っ先に自室より出てくる入居者様2名が、その時はいつもと違う様子を戸惑い居室の中で不安そうにしており逆行動に驚かされました。

佐々木～うちの町内は外へでた人なら見れるかなと思います。

青山～人命にかかわることなのであまり言えないが、燃えてダメだと思ったら自分の身を考えることです。犠牲にしてまでとは考えないで欲しい。そういう切り替えも必要です。1階は外に直接出れますが、2階は直接出れないので大変です。1階で火災があったら戸口をしめて、ベランダに避難すると消防がきてはしご車で救出となります。

山村～バルコニーの手前に大きな木があるんですが、はしご車の邪魔ではないですか。

青山～七飯消防にははしご車がないので3連梯子での救出になります。

横田～はしご車はないんですか。

青山～北斗市はありますが、うちはないんです。

横田～それでは今までの避難訓練で車イスをいつもバルコニーに避難させていましたが、避難口に非難させるのとどちらがいいですか。

青山～避難訓練の基本はバルコニーです。一時非難ははしご車で何とかするが、うちとしては車イスは階段の方が隊員2人で救出できます。但し、訓練では歩ける人は階段、歩けない人は救出を待つという事になります。

横田～非常口に車イス3台はとても無理ですし、避難訓練基本のバルコニー誘導ということですね。

青山～そうなりますね。24年迄にスプリンクラーがつきますが、そもそもスプリンクラーというのはヘッドが炎でとけて水がでてくる仕組みになっています。ですから水が出るまでに時間がかかります。それに至るまでには結構な煙がでます。やはり一番怖いのは煙です。スプリンクラーがついたら火の海とはなりません。それだからこそ煙対策が重要です。部屋の中で燃えるというものは布団です。くすぶって燃えあがるまでに時間がかかります。実際火事になったら居室の戸をしめて防いで避難して下さい。明るい所をスモークをたいてやった訓練のようにはいきません。視界がきかないので壁づたいで歩くことになるでしょうし大変だとおもいます。煙は有毒ガスがでるのでその辺も頭に入れておいて下さい。

横田～今度の避難訓練で救出の方法、仕方を見せていただけませんか

青山～消防はマスクを使いポンペを背負い救出するやりかたなので、介護ではないのでできません。

山村～今日の避難訓練を見て、こうしたらいいのではという御意見などございませんか。

浅利～誰が車イスで、誰が歩けるのか誰が歩けないのか、お手伝いするにしてもわからないので居室前にそのような表示があるといいのかなと思いました。

横田～実際の火事では煙でなにもみえないと思うのでとにかく外にでた人をみていただけるだけでありがたいと思います。

佐々木～車イスの人を1階にいれたらどうなんでしょうね

横田～実際もらい火があった時には、スタッフ2名がかりで車イスを外におろしました。

保原～他の施設ではどうにかしてでも外にだすような技術講習を2名の方が受けてきて、とにかく骨折しても命を助ける方向でと話されてました。

横田～次回の訓練で、スタッフが入居者の変わりとなってやるのはどうでしょうかね

青山～うちの消防にも30キロの人形があるので貸す事はできますよ。とにかく避難訓練は最悪の状況下で1番条件が悪い所が出火したという想定でやる事が大事です。

横田～もう1回の避難訓練は違う方向で考えて見たいと思います。

山村～それでは次の議題に移りたいと思います。9月17日に外部評価を行いました。前年度指摘をうけた地域、近隣を交えての夜間を想定した非難訓練も3月29日に実施しているので今回は大きな問題もなく無事に終了いたしました。

吉田～調査員の方からは介護はこれでいいということはないのでスタッフの皆さんで力をあわせこれからも頑張ってくださいというお言葉を頂き、これからは更に地域の方々や町内会の皆様とも親睦を深めていきたいと伝えました。

山村～今年度はもう1度避難訓練を予定していますので、その時にはまたお願いに伺いたいと思いますのでよろしく申し上げます。本日はお忙しい中、天候も悪いにも関わらずご出席頂きありがとうございました。